

会 議 録

会議の名称	中野市立小学校及び中学校適正規模等基本方針（案）について 保護者懇談会
日時	平成 27 年 12 月 18 日（金） 午後 6 時 00 分～午後 8 時 33 分
会場	中野市豊田公民館 多目的ホール及び和室
出席者等	<ul style="list-style-type: none">・参加者 49 人・教育委員会出席者 12 人 教育委員 5 人、教育委員会事務局 7 人・報道機関 0 人
次第	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 あいさつ3 基本方針（案）について4 質疑5 閉会
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

- 1 開会 進行：教育次長
- 2 あいさつ 教育委員長、教育長
- 3 基本方針（案）について 学校教育課長から資料に基づき説明
- 4 質疑

意見

- 前の市民説明会の時に 11 か所の説明会が終わらないと何とも言えないという答えが多くて、そこら辺の回答をよろしくお願いします。

回答

- もし記憶が間違っていたらすみません。スクールバスにつきましては、人数をお答えすれば良かったでしょうか。

意見

- 結局統廃合を考えた中で、スクールバスというのは、時間帯もあわさって、市内全域ともなれば何台かのバスが何時に出発しなければならないとか、色々な計画がきつと練られてこの方針案だと思っているのですが、そこら辺をお聞きしたい。

回答

- 今現在、豊井小と永田小でそれぞれスクールバスを利用されている方もいらっしゃると思いますが、もしこの基本方針案で豊田中学校の敷地内ということになった場合、今の国の基準でいきますと小学校については4 Km 以上、中学校については6 km以上というんですが、これに当てはめるのは少し難しい部分があります。
- 学校が終わって帰る場所ですが、子ども達が豊田中学校に残るのか、或いはもとの豊井小や永田小へ帰るのか、その辺も色々ありますが、今考えていますスクールバスについては、小型のワゴン車的なもので考えており、豊田地域2台、永田地域は3台必要だと。ただまわる順番とか時間帯の関係がありまして、学校に何時までに着くとかその辺をよく協議しないと、具体的になってこない状況です。

意見

- 方針案の最後にありますが、豊田中がもし高社区域ということになると、なから豊田地域からは全てバス通になりますか。

回答

- 現在、高社中学校区域へという所は修正する予定でありますので、検討はしてございません。

意見

- 豊井小地区で行われた市民説明会に参加した者ですが、全ての地区が終わって、意見を受けていると思いますが、終わった時点で集計をしたのかしていないのか、もし集計をしたのでしたら、おおよそで結構ですので、ここで発表して欲しいということと、もししていないのであれば、なぜしていないのか理由をお願いします。

回答

- 市内 11 小学校で説明会を実施致しまして、参加人数は延べ 622 人、意見を頂いた方が述べ 271 人でございます。詳細の議事録については、ホームページで公開させて頂いたり、各区でも見れるように各区長さんをお願いしたり、市内の施設でも閲覧できます。

意見

- ここでは発表はしないで、各自でみてくれということですか。

回答

- それぞれ皆さんに見て頂く機会を設けてございますので、そういったもので見て頂くような形でお願いします。
- ある程度項目毎に集計、結果を出したものがありますので、今どの程度まで回答を行うか精査しておりますが、出来る範囲でお知らせしたいと思います。

意見

- 9月いっぱい説明会の後、4か所で懇談会が行われました。あまり先延ばししたくないというお話がありましたが、そんなに先とはどの位先延ばしのことなのか。要するにこれからのスケジュールをどのように考えているのでしょうか。

回答

- あまり先延ばししたくないというのは、今日行っている保護者懇談会を、なぜ 11 の小学校毎にやらないのかという議員さんの質問に対して、11 校やるとなるとかなり日にちがかかり、またちょうど年末年始になってしまいますので、この懇談会を先延ばしにしたくないということです。今この時期にどのように考えているかという事ですが、前の説明会でも申し上げたとおり、これからまた基本方針案を練り直す訳ですが、それに対してもまた説明会を開いていかなければならないので、いつにするかということになりますと正直申しまして、全く白紙状態であるということが実情でございます。

意見

- 何でこの保護者懇談会を先延ししたくないということはわかりましたが、例えば1月でも2月に入っても、11箇所でするという考えはなかったのでしょうか。11か所まわって、皆さんはどう思われたかということもお聞きしたいと思います。

回答

- なぜ4か所にしたのかということですが、できれば早い段階で保護者の皆さんのご意見をお聞きしたいというのが私どもの教育委員会で話し合った中で教育委員の一致した考えでございます。
- 11校まわってどう思われたということですが、北部の倭小学校の保護者の皆様方の方からは、1日も早くというようなご意見もあったり、各地域の地域性もありますので、また検討させて頂いて、丁寧に懇談会、説明会を開いていかなければいけないなど、11会場終わった中で感じたことでした。

意見

- 今日は保護者ということですが、地域の人達との懇談会というのは計画されているのでしょうか。

回答

- 懇談会になるか説明会になるかわかりませんが、やるつもりです。

意見

- パブリックコメントで終わりという形はぜひとも行わないようにお願いします。

回答

- 先程のスクールバスについて補足をさせていただきます。基本的には小学校で4km以上ですが、合併時の擦り合せの中で、旧豊田地域につきましては4キロ未満でも、過去の分校の概念があり、4km未満であっても細かくスクールバスを運行しているのが現状でございます。

意見

- 先程高社中学校区への編入は今の所ないと言われたのですが、基本方針案で豊田地域に関してでも構わないのですが、どの程度この案から変更になっているか、現状でお話しいただければと思います。

回答

- まず、スケジュールについてですが、他でも申していますように延期したいと思います。
- それから、高社中学校区への編入の関係ですが、これは修正をかけていく予定でございます。
- それぞれの地域において、本当に切羽詰まって一時も早くと非常に強いお声をきいている地区については、当然説明の文章も早急にという主旨も盛り込む必要があるかなあと、また

一方、無くさないで欲しい、学校はぜひ残してくれといった地域は、慎重な審議がこれから必要であると思っています。これからまた全体的、総合的に教育委員会で審議します。

意見

- 5年生の娘がいるのですが、子どもが学校を統合することについて親に聞くのですが、それに対して親がちゃんと答えられなきゃいけないと思うのですよ。どうして今このような統合案になったのかということ、ちゃんと子ども達にも説明して頂きたいと思うのですが。

回答

- 他の地区でも子どもの声を聞いてほしいという声がございますので、今回子どもさんの意見は用紙に書いてくださいとお願いはしてきましたんですが、先生方にも聞いてみたいと思います。

意見

- 6月にこの件が出てから、私なりに色々な勉強をさせて頂きました。例えば小中一貫と書かれていることについても興味を持って色々情報を得てきました。ある小学校は小中一貫にしまして、確かにそれなりのメリットはあるかもしれませんが、小中一貫であると、9年間で教育の過程を終了させると、その学校は4.3.2で、ホップステップジャンプということで4学年が初等の終わり、中学1年生が途中で、中学3年で卒業ということで、その学校は6年次の卒業式もない。中1ギャップがない代わりに、小5ギャップがあったというような事例を聞いております。中野市域でいいますが、高社校区と豊田が小中一貫を目指して、他の校区は小中一貫ではないので、全体から見ると、中野市全体が小中一貫であればこの問題についてはいい方向であればいいのですが、南宮地域とかがそうそうでないとする、教育の公平性が保たれるかなど。木島平や信濃町は、1つの自治体が1つの小中学校です。中野市とは全然違う小中一貫のケースだと思います。小中一貫のメリットもあり、デメリットもありますが、どのようにお考えになっているかお聞きしたいと思います。

回答

- 中野市が今おっしゃるように足並みそろえて小中一貫をやった方がいいのではないかとすることも検討しました。なぜ南宮中学校区と中野平中学校区はやらないのか。中野平中学校区について、ずっと長い間中野平中学校で中央から大学の先生を呼んで、学びの共同体という強い柱をもって研究を進めており、毎年公開授業をやって、色々研究会をやっております。そこへ仮定の話であります、平野小、高丘小の教育方針と一緒にして小中一貫で通すには、あまりにもカリキュラムが違い過ぎてしまい、無理をかけてはいけないなあという想いがありました。それから南宮中学校区も南宮中学校の長い間の研究体制があります。やはり延徳、日野、中野小との小中一貫はなじまないということで、そこもあまり無理はできない、学校の独自性というものを大事にしたいなあと思いました。

意見

- 小中一貫についてはいかなる評価ですか。

回答

- 小中一貫は、プラスもマイナスもあります。ただ、キーワードは、故郷教育、郷土学習という風に思っているわけですが、小中カリキュラム教育課程を一本通せば、将来大きな力になるのではないかなあということで、説明を申し上げてきたところです。

意見

- 永田小学校の説明の時に、とある先生が6年生が小学校トップなんだけれども、小中一貫になったことによって、6年生の居場所がないというような言い方をされて、実際他の学校の事例もお聞きしましたが、そんなところはどうぞお考えでしょうか。

回答

- 言われたように6年生と中1の間をなくしてしまうと、小6の活躍がないと、児童会で活躍できないとか、卒業式ないこともあります。そのの所をクリアするには、6年生にそれぞれ役割を与える工夫が大切です。6年生が虚脱感を味合うようになってしまうことのないような工夫をしていければなあという事を思っているわけです。

意見

- いずれにしても、小中一貫を導入するとなりましたら、そこら辺をよく議論して頂かなくては、やったがこれは駄目だったとか実験台ではないのでそこら辺はよろしくお願いします。

回答

- おっしゃるとおり、失敗は許されないという表現でおっしゃる方もいました。急に小中一貫だではなくて、学校の現場の先生方の声も大事にし、急激な変化を起こさないように慎重にやっていきたいという想いでございます。

意見

- こんなお話を聞きました。これは初等教育の話ですが、1校の国別の人数ですが、日本は300強なんですよ。アメリカが420から500弱。あとは本当に少なく、今豊井小学校が100人ちょっとですが豊井小学校位の規模がよしとされる。やはり先生方が、学校の全ての子の顔がわかると教育の中で素晴らしいことかなと思います。
- 信州型コミュニティということで再来年度100%行いなさいというお話の中で、すでに地域の人が学校に入っています。そこをよく生かしてもらい、ふるさと教育をやっている永田小学校、豊井小学校、豊田中学校の個性を大事にしているこの規模は、少ないと言えるのかなと思いますし、とある先生も言っていました。少ない子どもで育った人が、大きな学校で教わった人の違いはどこかにありますか。データでありますでしょうか。

意見

- きちっとしたデータは私の知る限りありません。

意見

- 先生もそうおっしゃっておいりました。そういうデータもないですし、そういうこともありませんよと。たまたま3、40人の小さい学校から800人規模の中学校へ行って、生徒会長をやったというお話を聞いたのですが、決して小さいからといって全然危険があるとかそういうことはないと思います。いかに教育をするということが大事ですので、確かに国も県も教師の配置の為に予算をつけたりすることは、多少問題はあるかもしれませんが、そこらへんを進めて頂きたいと思います。

回答

- 北欧のフィンランド、スウェーデンあたりのことが、以前教育関係の番組でやっておりました。日本、アメリカ、韓国の色々な数字は非常に似ており、多いです。私は専門家でもありませんが、アメリカの教育制度が日本に導入されてきて、今になって形はもう大分変わってきていますが、その辺が似ています。フィンランドあたりの教育事情を見ますと、日本と決定的に違うところは授業形態です。日本のように全ではありませんが、黒板を背にして先生が立って、授業を一斉に進める。そのような形態はほとんどないですね。グループを進めて、しかも先生は決して指示をしない。例えばやりたいことがあったらテーマを選んでやってごらんと。子どもはそのグループを離れて外へ出ていこうが、極端な話、そこらで遊んでいても、決してそれを教師がとがめない。そういうところでは大人数は必要ありません。決定的に違うことは、まさに教科書がない。教科書はあってもそれは単なる資料だよというような学びです。その辺が子どもの数に影響しているのかなと思っていますが、ただ教育効果となると、子どもの人数が多いから、少ないからこうだよと決定的に言い切れない部分もあるということを知っています。

意見

- あと教育委員会ではないですが、この地域の振興策について、担当の部局の方へお願いして頂きたい。

回答

- それは伝えます。

意見

- 先程小さな学校から大きな所へ行って生徒会長やりますというお話がありましたが、逆に南宮中の方が多すぎるのではないかというのが気になります。9月にPTAの研修会参加させて頂きまして、南宮中のPTAの保護者の方から言われたのが、南宮中は生徒が多すぎて、要は保護者が多すぎて、役員もやらなくても済んでしまうので、PTAの感心がない。そういうご意見の方もいました。ということで、その意見そのものを子どもにあてはめれば、別

に自分が何かやらなくても生徒会の誰かがやってくれば終わる、そういう意識が当然子供の方にもあると思われるわけです。それが全く逆な話で、小さな学校はそれが出来ないから自分でやっていかなければいけないという意識が芽生える。だから大きな学校へ行っても逆に自分で引っ張っていこうという気になるのではないのかなと考えるのですが、そうするとその小さなメリットというのものもあるわけです。大きなものだけではない。そういう所はどのようにお考えですか。

回答

- 私も南宮中学で7年間勤務させて頂きました。PTAの研究集会に私も行かせて頂きました。PTA会長さんは環境教育にいらっしゃったのかなあとお見受けいたしました。生徒会の話が出ましたが、私が南宮中学にいた時は870人位いたような時で、それぞれ生徒会の役員を決める時、クラスから4人から5人位学級で相談して候補を出しました。私の時は9クラスありましたので、ものすごい数の生徒達が出まして、立候補の演説をして投票をしたのですが、今言われたようにそれだけ数が多くなると当然生徒会には無関心の人もいます。それから、投票になっても、この子はどのような事をやろうとしているのか理解できなくて、周りの子でいいやというような調子で投票をしたというのも記憶にあります。大きい学校だから、今言ったようなこともあります。今は南宮中学の生徒会活動も非常に活発で色々な活動をやっているという話を聞いています。

意見

- 今現在、中学校でキャリア教育などやっていますが、やはり教育の原点というのは社会に出てから生きていく力、これを教えるという考え方ですね。そうするとやはり自分で積極的に動く気持ちとか、そのような心構えが非常に大事だと思うので、やはり規模ばかりを追うのではなくて、教育のそういう所を大事にしてよく考えて頂きたいと思います。

回答

- キャリア教育については、ここで文部科学大臣から表彰を受けました。中野市のキャリア教育は、教育委員会の指導主事が一生懸命やっております。民間の方にも協力いただけていますが、キャリア教育は社会の一端ではあるけれども、仕事をするというその意味を学ぶ機会であり、物凄く大切なことだと思っています。

意見

- 確認ですが、豊田地区に関しては白紙っていう状態というような質問がありましたが、意見を出す立場がよく解らなくて、例えばこの提案書をみると、高社中と将来的には統合する方向と書いてありますが、夏の話し合いでは豊田地区についてはそういうことではないという話を頂いた。とすると、今日どういう意見を出せばいいのかがわかりません。実は一番良いと思っているのは、永田小、豊井小を豊田中学につけて小中一貫にしようという意見があるのだけれど、皆さんどうですか。聞いてもらえれば、いや、こういう点で良くないとか、

こういう点で良いとか言えるのですが。だから、はっきりして議論を整理してもらえるとありがたいと思います。

- パブリックコメントの記事を読みました。豊田地区の保護者の方で豊田中学校への一貫校は反対ですと、反対の理由が、あの通学路を子どもに歩かせるのはいかがなものか。安全面の観点でとても小学生を通わせるような環境にはないと、それから坂の上にあるという立地条件もよくない、という意見がありました。地区という立場で小学校が残るのか、無くなるのかということで考えると、色々な意見がでてきますが、保護者の意見になると、そのようなことが心配になってきます。自分の家から子どもを通わせるとしたら、路側帯ですかね、横に歩く所もない、ガードレールもない、今後交通量が増える可能性がある、そんな中でらくらく歩く小学生があんな道歩けるのかと、そんなことを考えると心配になります。
- それから校舎に対する不安をお持ちの保護者の方もたくさんいらっしゃいます。だから、もしこうだとしたらこういう所が心配ということをお聞きいただければと思います。
- 豊田地区に関しては結論を急がないという話が先程出たと思いますが、私が心配しているのは、もし結論を急がなくて、豊田地区はまだ話がまとまらないから現状のままできましようとなった時に、豊田中のあの建物は、もしかしたら予算を全然かけてもらえないのかなあ、どうせスクールバスが走るのだから通学路の整備は後でもいいかなど、中野市の予算の中から豊田の地区は外されていってしまうのではないかという不安があります。せっかくいいチャンスで決める時に、今がそうなのか、決めちゃえば予算がつくよという話なのか、そういう事ではない、現状維持になったとしても毎年の予算の中で子どもたちの為にしっかりと予算がつくという話なのか、何かその先延ばしされたことによる不安があります。

回答

- 何を質問すればいいのか、何を議論すればいいのかということですが、現在の人口減少から子どもたちの数も減少するという部分で、特に永田小学校については5年後になりますと1クラス1桁で複式学級となってしまう、ある一定規模のクラス運営をしていくということで、豊井小学校と永田小学校を統合させて頂きたいという案でございます。通学路ですが、確かに豊田中学校の坂が急であり、特に冬場は凍ったりすると交通事故が多くなることも含めて、担当の部局とも調整をして、安全対策をとっていきたいと考えています。
- 決定したら予算がつかないのではという話ですが、決してそうではございません。校舎の関係ですが、今現在豊田中学校という位置で検討をしていますが、豊田中学校も5年後には順次減って、学年1クラスずつということで、中学校の教室が空いてはきますが、小学校、中学校必要な部分についてはもちろん改修する必要がありますので、ご理解を得て方向が決まりましたら、具体的に整備計画という部分で説明をしていきたいと考えています。

回答

- 今の補足ですが、何を議論の対象にするかということですが、既に2年間、審議会というものを設け、それぞれ委員さんと議論して頂いた中で答申がでております。その答申に沿って何がいい方策であるかということで方針案を作成した訳ではありますが、あくまでもその時

の答申、或いは当時の保護者の意見等を基に策定しましたので、今この懇談会を設けている一番の理由は、率直に今皆さん方が感じているご意見をお聞きしたいということです。教育環境は今がベストで特に統合する必要もないとか、本当は統合したいのだけど学校がなくなるから困るとか、そういった声をお聞きしたいということで懇談の場を設けました。

- それと学校改修ですが、市内4中学校の内、確かに豊田中学校が一番古いわけですが、もし統合案が流れるなり或いは豊田中がいなくなっても、必要最低限の改築等は行っていくことにしておりますので、ご理解頂きたいと思います。

意見

- では単純に意見を言わせて頂くと、やはり地区から学校がなくなるというのは非常に寂しいです。私はIターンで入ってきた人間ですので、近くに学校があるという事が大きなメリットです。しかし、数年後に複式学級ができてしまうという現状も重大な問題です。飯山市で岡山小学校が戸狩小学校とくっつきましたが、最後の方は児童数がわずかになってからの統合でしたが、それが可哀そうだねというのは完全に大人の勝手な言い分なので、子どもからすれば、一生懸命生活して学校の為に頑張ってきた結果、満足感を持って登校したと思うのですけども、自分とすると残して欲しいなと思います。統合が必要なのもよくわかります。もし小中一貫校にするのであれば、する時のハードルがもの凄くたくさんあると思いますね。それが本当に出来るのかという所が不安です。設備の問題、校舎の問題、教員の問題それから教育カリキュラム、中野平中ということが出ていましたけれど。そういうのに1つ1つきちんと魅力を持たせてもらわないと結局子どもは減っていく一方なので、増やせるようなことも期待しつつ、小学校が一緒になってしまうのは個人的には仕方がない部分もあるかなと思います。

意見

- 8月、9月に市民説明会が開催されましたが、市民の皆さんにもかなりの温度差ありますよね。ここ豊田地区、豊井小、永田小の参加人数を見ますと100名近い、かたや中野小は14名しかない。かなりの温度差があると感じました。こういう問題はやはり市民全体で議論すべき問題だと思います。通学区の見直しという所で、先日の新聞の記事によりますと、現在の通学区を見直して再構築という時間を要する以上に住民の理解を得ることは難しい、という教育委員会のコメントがのっていましたが、少し違うと思います。逆に住民ととことん話をした上で方策を決めた方が良いのではないかと思います。そういった意味で言いますと、通学区を見直すという条件を追加していいのではないのでしょうか。現状ですと通学区は見直さないというお考えですが、あまり影響がない方々はそんなに関心を持たないと思います。ですから、いわゆるマンモス校と言われている学校に関しても、通学区を見直して、現在の小学校、中学校 存続するにはどうしたら良いかという方向に考え方を切り替えて、意見を出す方が良いのではないのでしょうか。あとはこの資料の3ページの通学路の見直しということで文章が書かれていますが、今ある小学校から全員同じ中学校へ通学ができる小中学校の配置を考えて、学校統合の場合も同様とするとありますけれども、通学区を見直しても見直

した先の中学校に通うことは十分検討できます。今だと、人数が多い学校は関係なくて、人数が少ないところが吸収されてしまうと考えてしまいます。人数の多い学校の方にも参加して頂くという意味で、通学区の見直しを追加したらどうかと思います。

回答

- 中野小、日野小、延徳小、南宮中の所では、通学区という話が結構出ています。ご意見として伺っておきます。

意見

- 市民説明会の時に心配していた件で、豊田中学校は高社中学校区へ持っていかないというお話でしたので、少し安心しました。次に豊井小学校と永田小学校の今後はどうなるのかというような疑問になると思うのですが、先程から豊田中学校で小中一貫校を目指すというような案ですが、高社中学校区の方は校舎分離型の小中一貫校を推進することで学級数と生徒数からくるデメリットを可能な限り克服できると考えるというふうにあります。豊田中学校区についても今度は校舎分離型ではなくて校舎一体型の小中一貫校を推進することで学級数や児童、生徒数からくるデメリットを克服できると、同じような文言になっています。中野市全域でこういう統廃合の議論をする時に、中野平中学のように外部の先生もきて研究を継続しているというような話もありましたが、それは置いて、同じ中野市である子ども達を育てていく時に、かたや小中は別々、かたや校舎分離型の小中一貫、豊田中学校区は校舎一体型だと、これはなぜなのか。小中一貫校は今の時代そうなのかなあと思う所もありますが、校舎一体型というのはやはり小学校1年生から中学校3年生まで同じ校舎であると、全て違うだろうし、プールも1つ、グラウンドも1つ、色々な状況の中で、小学校の子どもたちの遊び方、中学校の生徒達の遊び方というような流れで、現実可能なのでしょうか。

回答

- 豊田地区においては現在の案では豊田中学校の所へ豊井小、永田小のお子さんたちが来るという案になっています。そうなると、周辺整備、プール、グラウンドも当然整備していかなければとは思っています。
- 中学校においては5年後には80人半ば位の人数になった場合に、数字ばかり言って恐縮ですが、県からの先生が9教科全部揃わない状況になります。当然市教委の方でもフォローしないとイケないのですが、中学校においては一貫教育とは離れたところで、そういう現実も目の前に迫ってきているというのもまた皆様方にお伝えしていかなければいけない点があります。
- それと永田小についても是非学校を残して欲しいという地域の皆さんの声ですが、十分耳に残っています。現在の学級でも、担任の先生は工夫して努力して、子ども達も一生懸命勉強していますが、5年後になるとさらに人数が減って、学んでく時に集団での学び、体育での球技ができない、運動会の時の組体操というのができにくくなってきていると、その辺り苦しくなっているという現状もあります。

回答

- もし統合した場合、体育館や教室をどうするかについてですが、文部科学省でもある程度基準を出しておりまして、教室は完全に小学校、中学校分ける、また音楽室、理科室、図書室、相談室等は共通ですが、体育館も2つ必要ですし、例えば1つ武道場を造るとか、グラウンドも低学年の子と分けるようにグラウンドの中で線引きをするとか、プールは大、小に分けるとか、その辺は整備する予定ではあります。
- 小さい子どもと大きな子どもが一緒になることは実際可能かどうかという所ではありますが、これは信濃小中の例でございますが、教室配置で1年生と中3は離すと、途中に大きな廊下があればそれを境にして配置するなどしています。1年生と中3がなじむのかということも、先生方当初心配しましたが、実際やってみると中3の大きな子が小1の手を引ながら体育館に入場したり、集会で一緒になって楽しんでいるという姿もあると聞いています。

意見

- このままいくと複式になる、音楽会も出来ない、運動会もままならないよという話ですが、永田地域に学校がなくなるということについては、市民説明会でもお話しさせてもらっています。小中一貫になった時に体育館や教室が別々になる計画があれば、それをまた私どもに説明頂きたいです。ですが、プールや体育館をもう1個造るとか、まず現状で豊田中学の敷地の中ではちょっと無理があるのではないかと思います。そうした時にはもう少し違う所へ小中一貫校を新しいものを建てることも検討頂きたいなと思います。
- もう1つ中学3年生が小学校1年生の子供の手を引くというのは、真にいい話かなと思うのです。色々な先生方の話を聞いて勉強させて頂きましたが、4.3.2の小中一貫は聞いたところが良い訳ですが、現状の日本の国の教育というのは6.3でやっている部分が多いです。同じ市内でありながら中野平中学校区は、6.3というのが今の計画です。6.3で国の施策があるにもかかわらず、やはりその辺の所は疑問です。

意見

- さきほど聞いていて思ったのですが、豊田中が今後80人を切ってきた時に、9教科の先生が揃えられなくなると、それと、もしかして建物が一体の学校の話が繋がってくるんでしょうか。

回答

- 完全にはつながっていますよとは断言できないのですが、小学校の先生で、小学校だけの免許をもった先生、あわせて中学、高校の免許をもった先生がいます。小中一貫になった場合、特に5.6年生と中学の1.2年の担任では行ったり来たりして教えることが可能になります。教科がどうしてもそろわない時は、小学校の5.6年の先生で、例えば中学の数学の免許があるとか理科の免許があるとかそういった場合には、不足している部分に補う事はできますが、小学校の方に先生がいくには、小学校の免許が必要になります。中学の方からも小学校の免許を持った先生が指導に来るといような体制ができるよう、県に要望を出していく手順になります。

意見

- ということは、その一貫校がいいのかどうかという判断の結構大事な材料だと思います。中学校で9教科揃わないといえば、何となく親とすれば不安に感じるんですが、まあ小中一貫校の中には5、6年生が教科に教科担任制をとって、その不足を補っている学校も確かあった記憶がありますので、中学校の人数が減ってしまう方の教育の水準なのかわかりませんが、そういう質を確保することができるとお考えだとすれば、そういう話はぜひ出して頂いて考えられればいいなあと思います。

回答

- 私もあまり不安をあおるようなことは話したくないのですが、そうなった場合、市の教育委員会でもフォローします、しかし、その時教壇に立てて学級担任ができて、場合によっては部活もやってくださり、保護者の皆さんに信頼を得るといふ先生方を市教委で探すというのは、努力はしますが中々苦しいところがあります。今後予想されるので申した訳で、決して教育の質が落ちるとか考えたくないです。

意見

- 小中一貫の関係で加配のお話をされたのですが、国とか県では5年ということをお聞きしたのですが。

回答

- その話は聞いてないので、確認します。

意見

- 小中一貫の中で豊田中学校とした場合に、情報として豊田給食センターをなくすというお話を聞くわけですが、豊田給食センターについては他の会議でもお願いはしていますが、この食材については、ふるさとファームの方たちが、地域の食材を何とか子ども達に食べさせてあげたいという食育の面で素晴らしいと思います。確かに不揃いなものを調理しなければならぬ先生方は大変ですが、不揃いながらも無農薬というものを使う事によっての食育というものを考えた中で、確かに老朽化してきて予算がかかるということかもしれませんが、どうしても残して頂きたいというのがあります。
- もう1つ小さい学校になると部活という問題があります。野球やりたい子が中野シニアに入る、これはもう学校を取っ払って誰でも入れるという形です。そういった色々な社会体育を何とか充実して頂ければ、もしかして部活・部活という声は少なくなるのではないのでしょうか。

※多目的ホールの暖房に不備があったため、和室に移動して再開。

回答

- まず食育の関係ですが、以前から中野市では地産地消と申しまして、地元の食材を使って給食に出すというようなこともあり、これからも中野市の総合計画の中で、食育というものを文言に出して、大事に食育を考えていくこととしています。地元の野菜を作っている方に学校にお出で頂いて、会話しながら給食を食べる、というようなこともしています。一緒に給食を食べて、苦労と喜び、嬉しいこと、そんなことを子ども達に伝えることも大切です。作っている人達の声、特にこの地区は昔からお母さん方のそういうグループがあってやっているということも十分承知しています。
- 社会体育の関係ですが、部活については、この部活がないからこっちの中学校へ行くという方もいます。親御さんの熱い思いと子どもがやりたいと言っている気持ちもありますので、強く申しませんが、先程のご意見のように地元で社会体育で社会人講師がいて、サッカーでも野球でもバスケットでも、体制がきちんとしていけば、学校の先生達の手を離れてそういう所へ行けるとも思っています。もう10年以上前から県の教育委員会でも、部活動から社会体育の方へ移していくという案を出して、各学校へ色々説明にまわっていたというような時代もありました。ただ、なかなか仕事の関係やら色々あって、定期的に指導して下さる社会人講師がいないということも聞いています。

回答

- 給食センターについてですが、たたき台的には施設の在り方ということで公共施設白書というものがありまして、この中で国の方でも示していますが、なるべくスリム化することで検討している市内の公共施設が303施設ございます。それを利用率や状況等を精査し検討段階に入っており、もし豊田給食センターが無くなって、南部と北部にいった場合でも、食材の関係などは引き継いでいきたいとは思いますが、今の段階でなくなるかどうかというのは何とも言えないと状況です。

意見

- 豊田地域へ先生として赴任された方は、豊田の給食は美味しいと言って頂いております。物としてだけではなくて、そこへ繋がるものを感じてとってもらおうというのは、食育の一番やってもらわなければいけないことだと思っています。
- 先程、運動会や音楽会が小規模校だとなかなかできないということで、統廃合を考える会でちょっと議論させて頂きました。会の中でケーススタディをして、豊田が高社へ行ったらこういう問題が出る、もしそのまま存続したらどんな問題が出るというのを7項目程想定して考えました。そんな中で、もしこのまま小学校2つと中学校1つが存続した場合、子どもが減ってきて、そういう授業や活動が出来にくくなっていく。そうした場合に豊井小学校、永田小学校を連携校として、体育の授業は例えば少ない学年についてはこっちの学校、この時間はこの学校、それは教育委員会からバスを出してもらおうというお願いですが、行ったり来たりということで、何とか克服したらどうかという意見もあります。そういったことが可能かどうかといった事もありますが、今年はこの小学校とか、交互に音楽会をやるとかという連携も考えてほしいと思います。

回答

- 現実的な問題をイメージすると、行って帰ってくるだけでかなり時間がつぶれて、体育の時間、音楽の時間の中身がうんと少なくなってしまっていて、果たして授業を終わらせていけるのかどうか、不安なこともあります。
- 教科の学習に触れますが、ご承知のように永田小と豊井小の交流は中野市内で一番です。全学年やっております。中学に行ったときはほとんどが顔見知りで、教科以外でも交流を活発にしている、まさに連携教育です。

意見

- 教科の過程については突っ込んでいなかったのですが、運動会や音楽会もある程度の人数がいた方が盛り上がるし、良いものになるだろうと思います。まずそれには運動会とか音楽会だけでも、小さな所が一緒になって、メリットを出せる交流をまずはしていったらどうかということ聞いた訳ですが。

回答

- いずれにしても行事、イベントで交流を重ねていくことは賛成です。交流は大事なことだと思いますが、授業は色々な問題もありますので、ご意見としてお聞きしておきます。

意見

- そういう時は先程言ったようにスクールバスですね。授業のことまではまだ先の話だとしても大きなイベントの時だけでも市のフォローはして頂けるのでしょうか。

回答

- 可能な範囲では対応したいとは思っています。

意見

- 今日せっかく大勢みえていらっしゃるのでもしよければ5分とか10分とかお時間頂いて、小グループで話し合う時間を頂いたらどうかと思うのですが。例えば皆さんにそのグループに入ってもらい、懇談できれば。今まで話を聞いていて、思っていることも皆さんお有りではないのかなあと思うのですが。

回答

- そのような意見が出ましたが、いかがでしょうか。

意見

- 何かその辺で雑談的に話せるような時間をとって頂いて、皆さんにもまわってもらって、そこで聞いてもらえるだけでも何か随分と違うような気がします。

回答

- では今、そういう意見が出ましたので、私たちも聞ける範囲でお聞きします。

※各グループに分かれて座談会開催

回答

- ざっくばらんに話が出来たと思いますが、全体で話し合っていないので、それぞれどういう意見がでたかを、教育委員会と事務局の方で簡単にまとめをさせて頂いてその後、皆さんから補足があればということによろしいでしょうか。

回答

- 小規模校としての今後の活かし方について、新たな取り組み的なことをそれぞれ言われたように思っています。そして、スポーツ振興策は議論の中で出たようなもっと違う取り組み方があるのではないか、或いは今現在のこのシステムを応用できないかというような話を頂戴しております。

意見

- 補足ですが、色々な想定の中で小中一貫ということではなくて、もっと現実的なものを具体的に示すことが必要ではないかという意見が出ました。

回答

- 後ろの方のお母さんのグループでお話を聞かせていただきました。お母さん達は、統合はやはりやむを得ないけれども、小中一貫というのがまだ把握できないとので、教育委員会の方で解りやすく説明できるようにお知らせしたいという話をしました。
- あと、豊井、永田だけではなくて通学区全体を見直して大きな学校だっていいのではないかという意見も頂きました。校舎を1つか2つにまとめて、そこへバスで通うなら中野も豊田も平等であるということでした。あと給食センターも食育で色々やっているのだから、無くさないで、地域の食材はとても美味しいのでこれからもこのまま残して欲しいという意見でした。

回答

- 私も後ろのお母さん方のグループでお話をさせて頂きましたが、具体的にこういう風になったらどういう風になるのかという所がよく解らないから不安で、どっちがいいとははっきり言えないという意見でありました。それと、小中一貫、これもよくわからないので小中一貫はどうかのかな、中学生になったら中学生らしい生活をさせてやりたい、中学生らしい部活をしっかりやらせてあげたい、その様なことをおっしゃっていたかなと思います。小学校の子どもは地域、中学になったら選択性にして、高社とか中野平とかそういう選択をして、そして大きな所へ行くのもいいのかなというご意見もありました。そして、色々な事を

心配されていて、今具体的なことがわからないので不安だとおっしゃっている方が多かったかなと思います。

回答

- 私は目の前の皆さん方の所へ入りました。学校がなくなった場合、地域のコミュニティがどうなるのか、避難所がどうなっていくのか、また小規模校には小規模校の良さや、自分たち達の子も達が小さな学校の中で本当に先生と近い、また役割も与えられて生き生きとやっている、そういう所もわかって欲しいというような話もございました。
- また、地域の振興というのも市でどういう風に考えているのか。中学校の場合特に旧中野の3校に比べて豊田地区の中学が非常に古いので、その辺も早く何とかして頂きたいというご見がありました。

回答

- 小規模の良さ、或いは学校が古いから何とかして欲しいというのと、もし建て替えができるようであれば、若いお母さん方やお父さん方がこんな素晴らしい学校ならぜひ来てみたい、そういう夢のある学校がいいのはではないかというご意見もありました。

回答

- 小中一貫校が一番気になされた所かなと思っています。小学校は小学校、中学校は中学校のそれぞれ活躍するステージがある。豊田中では、部活が少なくて活動の幅が狭くなってしまっているので、中学になったら学校の選択も入れた方がいいのではないかという話がありました。
- 統合すると、不登校など発生する可能性があり、それは支援員の配置もやっていきたいということでお話をさせて頂きました。児童クラブの関係も一部出ましたが、豊井小、永田小統合しますとそれぞれ校舎が空いてきますので、現在も豊井小、永田小学校で児童クラブをやっておりますが、そういったことも引き続きやっていきたいとお話をさせて頂きました。

意見

- 全体を通して良いでしょうか。小中一貫になったらプールは大小造ります、体育館は2つ造ります、そんなような具体的な話をされると、凄く話がわかりやすく、そうしようかなという選択になると思います。それが無いのに方針案でポンと出されても全然わからないので、とにかく出される時はもっと具体的に、こういう想定のもとでこうなるということを出して頂ければ、それに賛成か反対かというのを出しやすいので、お願いしたいと思います。